



新型スカイラインのすべて

**SKYLINE JAPAN**

# 2000GT



写真はハードトップ2000GT-E・Xタイプ

## 熱い待望への鮮烈な回答。

ついに、いま、新型スカイラインが誕生。  
「走りの哲学」の追求が新しい個性を生み出しました。もはや「味」の  
領域をはるかに超えた「魂」のメカニズムです。

写真はハードトップ2000GT-E・Xタイプ



日本の風土が生んだ真のGT。  
「精悍なダンディズム」が息づく個性的な風貌。  
つねにGT界に君臨し、  
リードしてきたGTの頂点です。

虚飾を排したスタイリングはスカイラインの  
伝統。それを新しき澄ました「精悍なダンディ  
ズム」。新しい時代のスタイリング・デザイン  
の原点がここにあり、鮮烈に懸ったサー  
フライン。スカイラインの技術と芸術の  
新しい結晶です。「走りの哲学」の追求が  
生んだ真のグランド・ツーリング・カー。も  
はや「味」の領域をはるかに超えた「魂」の  
メカニズム。「走ること」によるこびを感覚  
できる、激しい気性と優しさを秘めています。  
いま、名車の承継に、またも日本の名  
作を加えました。新しい個性の誕生です。



写真はハードトップ2000GT-E・Lタイプ

# GT・SEDAN



2000GT-E-Xタイプ

あの「スカG」が鮮烈に生まれ変わりました。  
走りに徹し、豪放な気性を内に秘めた  
130馬力のエンジンを搭載。2000GT-E-Xタイプ。質のゼイタクを  
極めた異色のセダン。スカイラインの原点です。

写真は2000GT-E-Lタイプ



ボディをよがるサーフライン。  
「格闘的な知性」が漂う4ドアセダンのフォルム。  
リアビューもスカイラインだ！の  
個性でかためたデザインです。

誕生以来20年間、一貫した設計哲学で個性を優性遺伝し続けてきたスカイライン。シャープなスタビリティと快適な乗心地、この相反する2つの性格を見事に両立。伝統のスカGの足まわりをさらに磨き上げました。レースのノウハウと技術の先取性が隔々で息づいているGT。個性のかたまりです。



●ハードトップ2000GT-E-Xタイプの室内。全周起毛平織りシートが代表する優雅なインテリア。トータルカラーでロードノイズを、意味のよい大人の風情が漂っています。スカイラインを代表する最高級車種によるよい豪華装備です。



●2000GT-E-Xタイプのフロントシートです。理想のドライビングポジションが得られるさまざまな機構は、人間工学を臨床、医学にまでメスを入れた設計です。

# MECHANISM



●水晶共振式デジタル時計（電光管式）  
SタイプおよびXタイプに装備。ワンツウ式の扱いやすいタイプで毎分秒差のみ、デジタル表示は昼夜明るさが変化も設計です。



●イラストモニター  
車のイラスト上に故障箇所を示す簡易的なモニターで、正常時には一切点灯しないシステムです。  
A：充電系統の故障を示します。  
B：ブレーキ油不足時とサイドブレーキ戻し忘れに点灯します。  
C：エンジンを始動してから約20秒間点滅。  
D：半ドアのとき点灯します。  
E：燃料が約12%以下で点灯。  
F：ウォブセンサーが135%以上になると点灯します。

●ボルトメーター（電圧計）  
イグニッションキーをオンすると作動します。  
●フェューエルメーター（燃料計）  
急減速、コーナーリング中でも指針が変化しない精度をもっています。



●タコメーター（回転計）  
電圧式を採用しました。この車の通り、使用頻度の高い3000回転を真上にセットした安全で誤読の少ない設計です。サーキットメーターなるものではありません。

●温度メーター（水温計）  
ウォーターポンプの回転数にも指針誤差の少ないタイプです。  
●油圧計（ワーニングランプ付き）  
ワーニングランプを内蔵し、油圧が異常に低下すると赤色点灯します。

●スピードメーター（速度計）  
約100km/h以上になると電子音で警報するスピードワーニングを内蔵。トリップメーターはワンタッチでリセットできます。40-80km/hで真上程度を指針しますので見やすく安全です。



●ブーストメーター  
エンジン負荷を知れます。グリーンゾーンが経済走行の目安です。経済走行は好んでください。

●3つのランプモニター  
上はヘッドランプ（ハイビーム）、中がフォグランプ、下がストップランプの3つのランプモニターを集中配置。緑色の点滅状態などがすぐわかります。

●計器類は常用回転時に垂直になるよう考慮したサーキットメーターです。

水平指針の計器を機能的に配列したサーキットメーター。  
スカイラインで連続優勝し、  
あのR382を設計した技術者たちが生んだ、安全で誤読の少ない  
スカイライン独特の設計です。

車種 R382GT-R Xタイプ



操縦性と安全性を軸に  
レイアウトされたコックピット。  
「スカイラインの真髄」が結実した  
高密度設計です。

あくまでも機能的な操縦性を追求した人間中心設計のコックピット。例えばメーターまわりは、人間工学を超え、心理的領域まで踏み込んだ設計です。助手席からでもメカニカルな表情が捉えられるメーターレイアウトです。ステアリングはレザータッチの4本スポーク（Xタイプ）でコapsible機構を内蔵しています。軽快で、シャープなステアリングの応答性。定評ある3スピードのニックンフルオートマチックがスカイラインのボディを俊敏に駆ります。

●スカイラインサウンドシステム。スカイライン設計チームが走りながら聴くことに重点を置いて開発した2チャンネル4スピーカーサウンドシステムです。レバー操作で車室内を音が移動する曲線的な設計です。GTのXタイプ、Sタイプに装備。法文装備の専用カタログも用意しています。



Xタイプにパワーウィンドを標準装備。スイッチはセンターコンソールにセット。ドライバー側のみ形状が少し仕様です。6スピーカー用のウィンドはワンタッチ付です。



Sタイプにヘッドランプアタシーナーを装備しました。ジェット噴射ですばやく汚れを落とします。



オートリアーフウィッガーをXタイプに装備。温度を自動的に感知するセンサー一つ、スイッチ操作のみでお手入れが簡単です。



Xタイプの後席にアームレストを採用しました。スカイラインは座席だけでなく後席にも開放的なゆとりを確保しています。しかもインナーベルト収納のポケットつきます。

1600/1800 TI



1600 TI-Lタイプ

## スカイラインに日本初のTIシリーズ誕生。

国境を越えて、車の旅を楽しむヨーロッパの  
人々が求め、育ててきた車。それがTI(ツーリング・インターナショナル)です。  
日本に初登場。生まれ変わったスカイラインに誕生しました。

写真は1800TI-E-Lタイプ



写真は1800TI-E-Lタイプ●7ハミロードホイール・ラジアルタイヤはオプション



日本の風土が生んだ傑作車——スカイライン  
その1600/1800フルチェンジ  
新しい時代の新しいスカイラインにふさわしい  
TIという呼称で登場しました。

新しいスカイラインの呼称TI(ツーリング・  
インターナショナル)は、ヨーロッパで生まれ、  
育った「充足と経済性と快適な乗り心地」の  
すべてを満足させる名車の象徴です。スカイ  
ラインTI。その虚飾を排したスタイリング  
はスカイラインの「伝統」であり「血統」です。  
20年間、一貫して培ってきた技術が「味」の  
領域をはるかに超えた「魂」のメカニズムに  
結晶。初めて乗っても、長い間、乗り慣れた  
車のような感触——それがスカイラインの「魂」  
であり、技術者たちが求めた設計の真髄です。



写真は1800TI-E-Lタイプ

# TI-HARDTOP



ハードトップ1800TI-E-Lタイプ ●アルミロードホイール・ランフライトタイプ(1800TI-H4)はオプション

名車と呼ばれる新しい車がいま誕生しました。  
スカイライン・ハードトップTI。  
1800EGIエンジン搭載車も登場。より走りに徹したSタイプも  
4ドアセダンと同時にラインナップしました。

写真は1800TI-E-Lタイプ



ドアを開けると水平指針のサーキットメーターが  
目につく。ここにあるコックピット、  
ハンドルの握り、走らせたとき、数字や言葉では表現できない  
横振性のよさと安全性を発見して下さい。

写真はハードトップ1800TI-E-Sタイプ



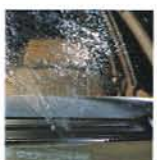
ついに、スカイラインTIの駿馬というべき  
最上級車、Sタイプが登場しました。シャープ  
なスタビリティと快適な乗り心地——この常識  
では両立し得ない2つの課題を見事に解決。  
ドライビングに習熟した人をも十分に満足さ  
せる総合性能を秘めた快心作。まさに、新しい  
TIを象徴するにふさわしい車の誕生です。



Sタイプに豪華なオーバーヘッドコンソールを標準装備。ドライバー、助手席各々に  
独立したスポットランプが組み込まれ、ルームランプ一体化されています。着色  
アクリル製のカードホルダーは高速道路などでカード入れとして大変便利です。



Lタイプ以上には装着時、圧迫感や拘束  
感の少ないコンフォートゾーン  
機構のシートベルトを標準装備。



ワiperは全車セミコンチーロード  
Lタイプ以上に雨時雨時噴射す  
る拡散式ワッシャーを採用。



両サイドのビターに、サイドウイ  
ンドの曇きをとる除くサイドゲ  
ワスターを装備しました。



Sタイプリアウインドウワiperを標準装備。作動角度  
が約180°というワイドなもので、ワイパーブレードが1,430  
mmという大型、もちろんウォッシャー付です。



# VAN



いま、名車の系譜に新しいバンが誕生。  
鮮烈なスタイリングは、まさに、スカイラインだけの個性です。  
GL、デラックスがデビューしました。

スカイラインの「精悍な個性」が息づく新しいバンが登場しました。両サイドに伝統のサーフィンラインが走る、シャープなスタイリングです。後面のオペラウインドは、単に後方視界を広げただけではなく、積荷がいたまに日当りまで計算しつくされたスカイラインならではの設計です。



●バンGLの室内。インナリアも装飾も走りのスカイラインの個性です。



●バンGLに電動ウォッシャー付きのサーフゲートウイパー、熱線式リアデフォグを装備。



●室内は凹凸がなくフラットです。GLは高級カーペットを敷くついでに、

# S K Y L I N E

名車の系譜に、まだ「名作」登場



新型スカイラインの新しい  
モデルが、デビュー

男性は、涼爽賢者。女性は、朝日春風思慕  
心。2,500名の風情者の中からオーディ  
ションを重ねて選ばれた。全くの新人達。  
日本新演劇が新しい世界を表現。

COMMERCIAL SONG

大型女性シンガーを起用!  
「愛はぶん」ラジ(大型有聲女性シンガ  
ー)が歌う。新しいスカイラインのCMソング。  
愛のワーキングが早くも注目されている。



量産スカイライン

あの4キシンオンビートの年、  
通称「愛スカ」がデビュー。たち  
まち人気を独占。第1回カー  
オブ・ザ・イヤー受賞。GT-Rの空前の  
50周年記念と、数々の栄光を収めた。

ファンとドライバーのスカイライン

ミニオンオンビートの年、爆発  
的な人気を呼んだ「ケンとメー  
リ」が誕生。6年連続リーグ優勝  
トカー受賞。4年連続自動車  
人気投票総合部門第1位などに  
輝いた。

SKYLINE JAPAN

ついに、登場。20年目、一貫して  
改良した新車種「一部がこれぞ」  
スカイライン」という「作品」を  
完成。日本の風土が生んだ傑作  
車として、新しい栄光と栄誉をひ  
とくめするにちがいない。

## 本年最大の話題

情報過多の年、つづ

新型スカイラインはいつのまにか、そして  
スタイルは、サーフィンラインは?—自動  
車業界の最大の関心事、新型スカイ  
ラインをいち早くスタンプすべく、今春、  
専任のスタッフのためのプロジェクトを編  
成するなど徹頭、徹尾は凡れ魂が込められ  
て仕上げたファンを喜ばせることに  
注力した。

なかなか出ない「写真」が、お情

それをひらいてみると「今年最大のモデル  
チェンジ(月刊自動車用)」「藤井真一郎氏  
の作風だけに期待の大きかっプリング一  
にはまらず「ニュースカイラインの全装  
をキャッチ」という大々的な夕刊で「覆面  
車をスタンプ(ハルボラン)」するなど熱気  
味の報道が、その後「これはニュースカ  
イラインGT」(モーターファン)「ベール  
をはぐ、ニュースタイルはこれ」(スポ  
ーツニッポン新聞)など、関係者の情報をも  
とにした予想イラストまで登場。ついに専  
任のNEWスカイライン専任高橋通隆と  
FISCOを走らせた(トヨタ)という無理  
試走スタンプまで登場。熱い期待は高  
まるばかり。

ついに、ニュー  
スカイラインの全装を  
キャッチ!  
栄光を受け続ける3代目ニュー  
スカイラインは  
本年最大の注目種だ。



### SKYLINE MINI HISTORY

数々の栄光と栄誉に輝くスカイラインの幼年史。  
全部ご紹介できないのが残念です。

- 1957年 初代スカイライン(ALSI-1)誕生。ド・デネン式リアアスタル、OHVエンジン機構など技術の最先端を走っていた。
- 1963年 スカイライン1500デラックス(SS0D)、月刊自動車用自動車人気投票で「選手権車」、藤井氏、自動車技術会賞受賞。スカイライン2000GTデビュー。第2回日本GPでポルシェと激戦。スカイライン1500L1位~8位独占。大観衆を清くさせた。
- 1965年 「年の成をかけた頂上」SS4B、SS4A発表。GTカーの先駆。R380、第3回日本GPでポルシェと激戦を破って優勝。2位も独占。OHV388PSのS57登場。自動車技術会技術賞受賞。
- 1967年 3代目スカイライン(C10型)、スカイライン2000GT(GC10型)誕生。R381、第5回日本GPで優勝。
- 1969年 スカイライン2000GT-R登場。あのR380の心臓部を移植。JAFグランプリレースで初勝利を飾る。破目の快進撃が始まる。
- 1970年 ハードトップ登場(1800、2000GT、GT-R)。モーターファン誌主催の第1回カーオブザイヤー(年間最高傑作自動車賞)受賞。ドライバーズベストカー受賞。月刊自動車用自動車人気投票第1位獲得。賞11位にニューモデルのスカイライン4代目(C-110型)誕生。3年連続ドライバーズベストカー受賞。月刊自動車用車人気投票上級車部門第1位獲得。
- 1975年 GTの哲学「S」タイプ登場。6年連続ドライバーズベストカー。2年連続月刊自動車用車人気投票総合部門第1位獲得。最大トルク独占。
- 1977年 4年連続月刊自動車用車人気投票総合部門第1位獲得。

## ●2000GTシリーズ

車名	セダン				ハードトップ			
	2000T 4.947	2000T-E 4.947	2000T-E 4.947	2000T-E 4.947	2000T 4.947	2000T-E 4.947	2000T-E 4.947	2000T-E 4.947
全長×全幅×全高(mm)	4690×1825(1.977)×1430×1130				4690×1825(1.977)×1430(1.113)			
室内長×幅×高(mm)	1790×1340×1130				1790×1340×1110			
エンジン最高出力(P/S/rpm)	115/6000				115/6000			
ギヤ	4・4.5・1.3-4-F				4.5-1.3-4-F			
ボディタイプ	○	○	○	○	○	○	○	○
エアサスペンション	○	○	○	○	○	○	○	○
パワーウィンドウ(ワンタッチ)	○	○	○	○	○	○	○	○
オートロック機能	○	○	○	○	○	○	○	○
ABS(制動距離短縮)付	○	○	○	○	○	○	○	○
A/S・F/R異軸キャブ	○	○	○	○	○	○	○	○
電動シート	○	○	○	○	○	○	○	○
電動リアガラス	○	○	○	○	○	○	○	○
キーレスエントリー	○	○	○	○	○	○	○	○
ナビゲーションシステム	○	○	○	○	○	○	○	○
オーディオシステム	○	○	○	○	○	○	○	○
電動リアドア	○	○	○	○	○	○	○	○
電動式リアミラー	○	○	○	○	○	○	○	○
リアガラス加熱装置	○	○	○	○	○	○	○	○

## ●1600・1800Tシリーズ

車名	セダン				ハードトップ			
	1600T 4.947	1600T 4.947	1800T 4.947	1800T-E 4.947	1600T 4.947	1800T 4.947	1800T-E 4.947	1800T-E 4.947
全長×全幅×全高(mm)	4690×1825×1340				4690×1825×1340			
室内長×幅×高(mm)	1790×1340×1130				1790×1340×1110			
エンジン最高出力(P/S/rpm)	139/6000				135/6000			
ギヤ	4・4.5・1.3-4-F				4.5-1.3-4-F			
ボディタイプ	○	○	○	○	○	○	○	○
エアサスペンション	○	○	○	○	○	○	○	○
パワーウィンドウ(ワンタッチ)	○	○	○	○	○	○	○	○
オートロック機能	○	○	○	○	○	○	○	○
ABS(制動距離短縮)付	○	○	○	○	○	○	○	○
A/S・F/R異軸キャブ	○	○	○	○	○	○	○	○
電動シート	○	○	○	○	○	○	○	○
電動リアガラス	○	○	○	○	○	○	○	○
キーレスエントリー	○	○	○	○	○	○	○	○
ナビゲーションシステム	○	○	○	○	○	○	○	○
オーディオシステム	○	○	○	○	○	○	○	○
電動リアドア	○	○	○	○	○	○	○	○
電動式リアミラー	○	○	○	○	○	○	○	○
リアガラス加熱装置	○	○	○	○	○	○	○	○

新型スカイライン発表記念  
**日曜・祝日OPEN**  
 ショールーム  
**9・10・11月**

新型スカイラインを、ごゆっくりと  
 ご覧いただくため、日産プリンスの  
 ショールームは日曜・祝日もオープンしています。

新型スカイラインの発売を記念して、展示会  
 にお出かけたご帰りの方へ日頃多忙な方  
 々のために、9月から11月までの3ヵ月間、  
 土曜・日曜はもちろんのこと、祝日もショ  
 ールームを開放し、新型スカイラインを展  
 示しています。お好きなときに、お好きな  
 だけ、皆さまのギャラリーとしてごゆっくりと  
 ご覧ください。当日、ご商談された方には、  
 素敵なオリジナルのプレゼントも用意しました。

ホリタイスープ記念品



スカイライン特製イメージカマグラス

## ●バン

車名	1990バン	
	ボディタイプ	GL
全長×全幅×全高(mm)	4725×1825×1425	
室内長×幅×高(mm)	1830(1860)×1208×1413	
エンジン最高出力(P/S/rpm)	100(105)/6000	
ギヤ	5・5.0・1.3-4-F	
ボディタイプ	○	○
エアサスペンション	○	○
ボディタイプ	○	○
エアサスペンション	○	○
ナビゲーションシステム	○	○
オーディオシステム	○	○
電動リアドア	○	○
電動式リアミラー	○	○
リアガラス加熱装置	○	○

\*各車種についての詳細なカタログを  
 用意しております。ご希望の方は最寄りの  
 日産プリンス販売会社へお気軽にお問  
 い合わせください。